

BIAOZHUN RIYU HUIHUA
JIAOCHENG ZHONGJI
JIAOSHI SHOUC



标准日语会话教程·中级

教师手册

主编 许罗莎 〔日〕岸田修次 插图 赵健平



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

H369.9
X876/2

标准日语会话教程

中 级

教师手册

主编 许罗莎 [日] 岸田修次

编委 [日] 安藤美保 余六一 刘先飞

插图 赵健平

江苏工业学院图书馆
藏书章



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

标准日语会话教程. 中级(教师手册) / 许罗莎, (日) 岸田修次主编. —北京: 北京大学出版社, 2005.8

ISBN 7-301-0983-8

I. 标… II. ①许… ②岸… III. 日语-口语-教学参考资料 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 074642 号

书 名: 标准日语会话教程(中级)(教师手册)

著作责任者: 许罗莎 (日) 岸田修次 主编

责任编辑: 杜若明

标准书号: ISBN 7-301-09083-8/H · 1492

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路 205 号 100871

网 址: <http://cbs.pku.edu.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62753334

电子邮箱: zpup@pup.pku.edu.cn

排 版 者: 华伦图文制作中心

印 刷 者: 北京宏伟双华印刷有限公司

发 行 者: 北京大学出版社

经 销 者: 新华书店

787 毫米×1092 毫米 16 开本 7.25 印张 150 千字

2005 年 8 月第 1 版 2005 年 8 月第 1 次印刷

定 价: 13.00 元

まえがき

『標準日本語会話教程 中級』は、広東外語外貿大学東方語言文化学院日本語学部において、初・中級レベルに携わっている（或いは携わったことがある）教師によって編纂されたシリーズ教材の1つで、中国の大学において日本語学習歴1年程度の学習者を対象に作られた会話練習用の教材です。使用期間は週4時間、一学年144時間程度を想定しています。

現在中国で市販されている会話教材は、教科書にあるスクリプトを暗記したり、その一部を他の内容に置き換えたりする練習方法を取り入れたものが多いように思われます。しかしそれでは、学習者自信が積極的に談話を構成していく能力が育たないように思います。

学習者の談話構成能力を高める練習法の一つとしてロールプレイ（ロールカードに書かれた役と場面設定をもとに会話をするというもの）が挙げられますが、確かに中国で市販されている会話教材にもロールプレイを取り入れたものもあります。

しかし、現在中国で市販されているロールプレイ教材はその状況設定のほとんどが日本側の状況であり、中国の実情が反映されていないように思います。例えば、「お世話になっている保証人に挨拶に行く」といった場面設定は日本にいる学習者向けに考えられたもので、中国ではあり得ないものです。

また、中には、「受験を控えた先輩に対して後輩が励ます」といった場面設定のものもありますが、こういった場面は日中間わず、万国共通の場面かもしれません。しかし、この場面設定では、先輩、後輩のどちらかが日本語を母語としている人間であり、なおかつ二人の間で日本語を媒介語として使っているという前提がなければ、日本語を使わずに中国語で済ませてしまうでしょう。ですから、このような場面も中国の実情を反映したものとは言えません。

このような場面設定では、現実味がなく、学習した内容を実際の場面で活かせる可能性も少なくなり、学習者のモチベーションの低下にもつながる恐れがあります。

そこで、本教材では、「接触場面」（＝その言語がその学習者によってどのよう

に使われているか)、つまり「中国の大学生(主に2年生)が中国にいて日本語を使ってコミュニケーションする場面」をできる限り想定してロールカードを作成しています。(一部、将来的な状況を予測して作成したものもあります。)そのロールカードの多くは、もともと広東外語外貿大学日本語学科2年生の会話の授業で約1年半使用してきたもので、常日頃から学生との交流を持ち、どのような接触場面があるのか観察してきた結果作成してきたものでもあります。

執筆者は、岸田修次・余六一〈セクション1, 3〉、岸田修次・許羅莎〈セクション5, 8〉、岸田修次・安藤美保〈セクション6〉、岸田修次・劉先飛〈セクション7〉、安藤美保〈セクション2, 11〉、岸田修次〈セクション4〉、余六一〈セクション9〉、劉先飛〈セクション10〉、許羅莎〈セクション12〉で、挿絵は、広東外語外貿大学東方語言文化学院日本語学部卒業生 趙健平にお願いしました。各セクションの構造および内容審査は、岸田修次、許羅莎、安藤美保が担当しました。

「接触場面」に対する理解もまだまだ不十分であり、試行錯誤の段階といえますが、「中国の実情を踏まえた会話教材」という点では一步近づいたと思っています。

最後になりましたが、コラム作成のためのアンケートに協力してくださった広州日本商工会の皆様、広東外語外貿大学東方語言文化学院日本語学科1999級、2000級の学生の皆さん、同大学日本人留学生の方々、この場を借りて感謝の意を述べさせていただきます。

筆者

2005年5月

本書の利用について

『標準日本語会話教程 中級』は「タスク先行型」のロールプレイを練習方法として取り入れた教材です。両者の違いを図示したものが以下の(a)と(b)です。

(a) 表現先行型：表現・文型の導入・練習 → ロールプレイ（表現の定着）

(b) タスク先行型：ロールプレイ（力試し）→ 表現・文型の導入・練習

「タスク先行型」のロールプレイは教師にとっては、どのような「言語的挫折」（うまく言えなかったり、極端に正確さが落ちてしまうこと）が起こって、どのような表現・文型を導入すればいいかを、授業の前に知ることができず、前もって準備しておくことができないという、かなりスリリングなものになってしまいます。それを少しでも解消しようとして作ったのがこの参考書です。これは、このロールプレイでは大体このような展開で、このような表現が出てくることを考えられるかをまとめています。展開、表現・文型のすべてを網羅することは不可能ですが、この参考書を読んでいただければ、どのような展開になり、どのような表現・文型が出てくるかがお分かりいただけると思いますので、ぜひ授業前に読んで、参考にしてください。

また、『標準日本語会話教程 中級』には、本会話教材の特徴、ロールプレイの進め方及びそのポイントを記載してありますので、この参考書と同時に目を通していただければ、本会話教材の趣旨を一層理解していただけると思います。

1) 記号の見方について

『標準日本語会話教程 中級 教師用书』には、一部（＝ロールプレイの練習方法を取り入れていない、後半の一部）を除き、すべて会話例とポイントを示しています。ポイントは、その会話例の内容を組み立てていく上で骨組みともなる言語機能、表現・文型をまとめたものです。表現・文型に関しては、初めて出てきたものは網かけで、それ以降は下線で表示しています。

この会話例及びポイントは、あくまで教師がどのような展開になり、どのような表現・文型が出てくるかを理解するためであり、この会話例をそのままコピーして学習者に渡すようなことは避けてください。

2) 会話例のポイントとして挙げられている表現・文型について

会話例のポイントとして挙げられている表現・文型について、以下の処理をしています。

① 文体差の処理方法について

(例) 「～って伝えてもらえる？」と「～と伝えていただけませんか」
「～したんだけど」と「～したんですが」

上記のような文体差はその表現・文型のバリエーションとして同じものにしており、会話例に出てきた形式のみを書き出しています。その中で初めて出てきたものに関しては網かけ表示にしており、それ以外は下線で表示しています。

② 類似表現の処理方法について

(例) 「プレゼントなら～はどうですか」と「プレゼントだったら～はどうですか」
「大丈夫ですよ」と「かまいませんよ」

上記のような、置き換えてもほとんど意味が変わらない類似表現に関しては、会話例に出てきた形式のみを書き出しています。ですから、「他にも似た類似表現があるかもしれない」といった意識で見てください。

筆者

2005年5月

目 録

セクション1 「出会いと別れ」—— 挨拶.....	1
本課の構成	1
会話例 (ロールカード①)	2
会話例 (ロールカード②)	2
会話例 (ロールカード③)	4
会話例 (ロールカード④)	5
会話例 (ロールカード⑤)	5
会話例 (ロールカード⑥)	7
セクション2 「いいですよ！」—— 許可.....	8
本課の構成	8
会話例 (ロールカード①)	9
会話例 (ロールカード②)	9
会話例 (ロールカード③)	10
会話例 (ロールカード④)	11
会話例 (ロールカード⑤)	12
会話例 (ロールカード⑥)	13
会話例 (ロールカード⑦)	14
会話例 (ロールカード⑧)	15
会話例 (ロールカード⑨)	16
セクション3 「行かない？」—— 誘い.....	18
本課の構成	18
会話例 (ロールカード①)	19
会話例 (ロールカード②)	19
会話例 (ロールカード③)	20
会話例 (ロールカード④)	21
会話例 (ロールカード⑤)	23

会話例 (ロールカード⑥)	24
会話例 (ロールカード⑦)	25

セクション4 「ねえ～、お・ね・が・い」—— 依頼 26

本課の構成	26
会話例 (ロールカード①)	27
会話例 (ロールカード②)	27
会話例 (ロールカード③)	29
会話例 (ロールカード④)	30
会話例 (ロールカード⑤)	31
会話例 (ロールカード⑥)	32
会話例 (ロールカード⑦)	33
会話例 (ロールカード⑧)	33
会話例 (ロールカード⑨)	35
会話例 (ロールカード⑩)	36

セクション5 「トウルルル…」—— 電話..... 38

本課の構成	38
会話例 (ロールカード①)	39
会話例 (ロールカード②)	39
会話例 (ロールカード③)	41
会話例 (ロールカード④)	42
会話例 (ロールカード⑤)	43
会話例 (ロールカード⑥-1)	44
会話例 (ロールカード⑥-2)	45
会話例 (ロールカード⑦-1)	46
会話例 (ロールカード⑦-2)	47
会話例 (ロールカード⑧)	48

セクション6 「いないのか…」—— 伝言..... 50

本課の構成	50
会話例 (ロールカード①)	51
会話例 (ロールカード②)	52
会話例 (ロールカード③)	53

会話例 (ロールカード④)	54
会話例 (ロールカード⑤)	55
会話例 (ロールカード⑥)	55
会話例 (ロールカード⑦)	57
会話例 (ロールカード⑧)	58
会話例 (ロールカード⑨)	58
会話例 (ロールカード⑩)	59

セクション7 「ったく、もう」—— 苦情.....61

本課の構成	61
会話例 (ロールカード①)	62
会話例 (ロールカード②)	62
会話例 (ロールカード③)	63
会話例 (ロールカード④)	64
会話例 (ロールカード⑤)	65
会話例 (ロールカード⑥)	66
会話例 (ロールカード⑦)	67
会話例 (ロールカード⑧)	67

セクション8 「アルバイト篇」.....69

本課の構成	69
会話例 (ロールカード①)	70
会話例 (ロールカード②)	71
会話例 (ロールカード③)	73
会話例 (ロールカード④)	73
会話例 (ロールカード⑤)	75
会話例 (ロールカード⑥)	76
会話例 (ロールカード⑦)	78
会話例 (ロールカード⑧)	79

セクション9 「これにしたら？」—— 助言.....81

本課の構成	81
会話例 (ロールカード①)	82
会話例 (ロールカード②)	83

会話例 (ロールカード③-1)	84
会話例 (ロールカード③-2)	84
会話例 (ロールカード④)	85
会話例 (ロールカード⑤)	86
会話例 (ロールカード⑥)	87

セクション10 「今まで見たことないような形」

—— 物の描写 88

本課の構成	88
ウォーミングアップ (語例)	89
会話例 (ロールカード①)	90
会話例 (ロールカード②)	90
会話例 (ロールカード③)	91
会話例 (ロールカード④)	92
会話例 (ロールカード⑤)	94

セクション11 「どんな人かな？」—— 容姿の描写 96

本課の構成	96
会話例 (ロールカード①)	97
会話例 (ロールカード②)	98

セクション12 「どんな感じの人?…」—— 性格の描写 100

本課の構成	100
実践に入る前の隠し練習	101
会話例 (実践②ロールカード)	101

参考文献 103

あとがき 104

著者紹介 106

セクション1 「出会いと別れ」

挨拶

本課の構成

全 体 の ウ ォ ー ミ ン グ ア ッ プ	ロールカード 主な内容	小さなウ ォーミン グアッ プ	会話例	練習 問題	中 コ ラ ム
	① 初対面の挨拶 (学生と先生)	○	○	○	趙?張? 主な部首表 ちょう じゃん 張か張か
	② 別れの挨拶 (学生と実習生)	○	○	○	日本人は2度 お礼を言う
	③ 久しぶりに会った時の挨拶 (先生と学生)	○	○	/	/
	④ 久しぶりに会った時の挨拶 (友達の間)	○	○	/	/
	⑤ 久しぶりに会って他人の近況を聞く (友達の間)	○	○	○	***** /
	⑥ 指導してもらった先生に挨拶に行っ て、指導日を相談して決める (学生と先生)	○	○	/	沈黙は金? はい、はい

会話例 (ロールカード①)

A : ①あのう、すみませんが、皆様は××大学の実習生の方でしょうか。

中野 : はい。××大学の方ですか。私は実習生の引率を担当している中野と申します。

A : ②ようこそいらっしゃいました。 ③私は××大学日本語学科二年生のAと申します。 ②学校の代表として皆様をお迎えにあがりました。

③はじめまして。どうぞよろしくお願いします。

中野 : ③こちらこそ、よろしくお願いします。

A : これから 2 週間、②何かあったら、どうぞ遠慮せずにおっしゃってください。では、早速学校のほうへご案内いたします。

中野 : お願いします。

A : あちらに学校の車を待たせてありますので、どうぞ。

ポイント

① — 相手を確認する

② 「ようこそいらっしゃいました」
「何かあったら、どうぞ遠慮せずにおっしゃってください」 } — 出迎えの挨拶

③ 「〜と申します」
「はじめまして。(どうぞ) よろしく申し上げます」 } — 初対面の挨拶
「こちらこそ、(どうぞ) よろしく申し上げます」

会話例 (ロールカード②)

(トントン)

田中 : はい、どうぞ。

A : 先生、失礼します。

田中 : ああ、Aさん。どうしたんですか。

A : 先生、明日 9 時ごろ出発なさるんですね。

田中 : ええ、その頃みなさんは授業ですね。

A : ええ。それで、①今日は先生にお別れの挨拶をしようと思って…。

②先生、この2週間本当にありがとうございました。

③他のクラスメートもまたいつか先生に会いたいといっています。

(プレゼントを出して) ③これ、たいしたものではありませんが、ほんの気持ちです。 ②熱心に教えてくださって、ありがとうございました。

田中 : ああ、ありがとう。①みんなによろしくと言ってくださいね。

A : はい、①また広州に来ることがあったら、連絡してくださいね。

今度、広州に来た時には、私が空港まで迎えに行きますから。

田中 : どうもありがとう。①機会があったら、また必ず来ます。

①Aさんこそ、機会があったら、一度大阪に来て下さい。私が案内しますから。大阪はいい所ですよ。

A : ええ。いつか必ず行きます。その時はよろしくお願いします。

田中 : (寂しそうな顔をして) ①ほんとうに名残惜しいですね。

A : ええ。でも、①もう会えないというわけじゃないんですから。

田中 : そうですね。①また会えますよね。あっ、①これ、私のEメールのアドレスです。暇なときにでもメールください。私からもしますから。

A : はい、私もちゃんと送ります。①日本に帰っても、中国語忘れないでくださいね。

田中 : Aさんこそ、日本語の勉強しっかりね。

A : 先生、今日はもう遅いので、そろそろ失礼します。

①気をつけて帰ってくださいね。

田中 : ②今日はわざわざ来てくれて、どうもありがとう。

ポイント

①「今日は(人)にお別れの挨拶をしようと思って…」

「(人)もまた(人)に会いたいと言っていました」

「(人)によろしくと言っておいてください」

「また(場所)に来ることがあったら、連絡してください」

「名残惜しいですね」

「気をつけて帰ってください」

「今日はわざわざ来てくれてありがとう」

「今日はわざわざ来てくださってありがとうございます」

—— 別れの挨拶

②「(～てくださって) ありがとうございました」—— 世話になったお礼を言う

③「これ、たいしたものではありませんが、ほんの気持ちです」—— プレゼントを渡す

会話例（ロールカード③）

（コンコン）

西田：はい、どうぞ。

A：失礼します。西田先生、①お久しぶりです。私は二年前卒業したAです。

西田：やあ、Aさん、①卒業式（の時）以来ですね。しばらくですね。

②卒業してから ずっと会っていませんけど、どうしてるんですか。

A：③卒業してから ホンダで通訳として働いています。

西田：②仕事は大変ですか。

A：ええ。③難しい専門用語が多くて少し困っています。ですが、何とかやっています。

西田：そうですか、頑張ってくださいね。

ところで、今日は他の先生に用があつて来たんですか。

A：いいえ、近くまで来たものですから、ついでに先生にご挨拶しようと思ひまして。

西田：そうですか。わざわざありがとうございます。

Aさん、せっかくここまで来たんだから、今晚いっしょにご飯を食べませんか。

A：すみません。今日はこれから会社に戻らなければなりませんので…。

西田：そうですか、それは残念ですね。じゃ、また別の機会にゆっくり話しましょう。

A：ええ。では、先生、これで失礼します。

ポイント

①「お久しぶりです」

「～以来ですね」

「しばらくですね」

—— 久しぶりに会った挨拶

②「（～てから） どうしているんですか」 —— 近況を聞く

③ —— 近況を述べる

会話例（ロールカード④）

A(女)：あれ～、Bさんじゃない。Bさん！！

B(女)：えっ、Aさん？①久しぶり～！卒業式の時以来ね。もう十年経つね。

A(女)：そうね。元気？

B(女)：元気、元気。②聞いたわよ、Aさん会社の経理を担当してるって。すごいね。

A(女)：③仕事は楽しいけど、毎日遅くて大変。②Bさんは？

B(女)：私は③卒業してから、上海に行って、ずっと日本商社に勤めているの。先週から出張で広州に来てるんだけど、あした帰るんで、ちょっとお土産でも買おうかと思って。これ、私の名刺。上海に来たら、ぜひ連絡して。

A(女)：ありがと。じゃ、その時は必ず連絡するね。

ポイント

①「久しぶり」
「～以来ね」
「もう十年経つね」

} ——— 久しぶりに会った挨拶

②「聞いた（わ）よ／聞きましたよ、～って」
「～さんは？」

} ——— 相手の近況を聞く

③「～てから～ています」—— 自分の近況を述べる

会話例（ロールカード⑤）

（Aさん、Bさん、銭さん＝女性、王さん＝男性）

A：Bさん、①久しぶりですね。

B：ああ、Aさん。①久しぶりですね。②元気にしていますか。

A：③ええ、忙しいですけど元気です。②仕事の調子はどうですか。

B：③実は前に勤めていた会社を辞めて、今はジャスコで働いているんです。

A：へええ、そうなんですか。

B: あっ、ところで、今日銭さん来ていないみたいだけど、④彼女と連絡をとっていますか。

A: ええ、取っているわよ。⑤彼女、今カナダに留学していると聞きましたよ。

B: ええ、本当ですか。彼女、どうして私に連絡してくれないのかなあ。

A: ④王さんも来ていないみたいだけど、どうしているのかな。

B: ああ、⑤彼は今北京で働いているそうですよ。

A: ええ、北京で!?

B: ええ。4クラスの陳さんがそう言っていましたよ。

A: そうなんですか。…Bさんは王さんの北京の住所、知っていますか。

B: ええ。私、今度のゴールデンウィークに北京に行くつもりなんだけど、その時、時間があったら、彼と会おうと思っているんです。

A: そうなんですか。じゃ、もしよかったら、私もいっしょに行ってもいいですか。

B: ええ、いいですよ。旅は大勢の方が楽しいって言いますし。

A: 本当ですか。やった〜!!

B: ?? どうしてそんなに彼に会いたいんですか。Aさん、もしかして…。

A: 別に特別な意味はありませんよ! 何を考えているんですか。

B: 本当ですか〜。

ポイント

①「久しぶりですね」—— 久しぶりに会った挨拶

②「元気にしていますか」(新出)

「〜はどうですか/いかがですか」

} —— 相手の近況を聞く

③ —— 自分の近況を述べる

④ —— 他人の近況を聞く

⑤「〜と聞きました」

「〜そうです(よ)」

} —— 他人の近況を述べる
